

○内島典子(北見工業大学 地域共同研究センター)

鞘師 守(北見工業大学 地域共同研究センター)

1. はじめに

大学設置数は2007年には、756大学となった¹⁾。大学延志願者数が1992年にピークを迎え、その後、受験者減の時代が続く中で、大学への入学希望者総数が全国の大学の定員の総数を下回る大学全入時代が到来した。2004年4月には、明治以来130年間国の機関として位置づけられていた国立大学が法人化した。大学の自主性を高め、さらに民間的発想の経営手法を導入し、国際競争力のある大学創出を目指し、大学改革の方向として、① 自立的な環境の下で国立大学を活性化、② 優れた教育や特色ある研究に向けてより積極的な取り組みを推進、③ より個性的な魅力ある国立大学を実現、を掲げた²⁾。定員割れが予想される地方の大学やブランド力のある大学以外の大学等においては、大学の個性のアピール、教育内容の充実など、特色ある大学としての取り組みが進められている。また、近年では大学の機能として、地域社会・経済社会・国際社会等広い意味での社会全体の発展への寄与とされる社会貢献が大学の「第三の使命」と捉えられている^{3) 4)}。地域に位置する大学には、大学の個性を活かした地域社会への貢献が求められている。すでに、地元自治体や企業等と連携するなどの取り組みが進められ、また、地域にとって大学の存在自体が大きな貢献となっている面もあるが、更なる地域振興に貢献する、地域と大学とのより良い関係構築が必要である。

2. 北見工業大学の研究環境

歴史 北見工業大学は1960年に開学し、まもなく創立50年を迎える。

地理的環境 北見工業大学は日本最北端の国立大学であり、その立地環境を最大限に活かした寒冷域工学の拠点形成を目指している。

重点研究 寒冷域のエネルギー・環境、社会基盤技術に関する研究を一つの中心的な柱とする中で、農業地帯に所在する工業大学として独自の役割を押し進めるため、また、最先端の学問分野や学際領域での研究を推進し、一層の個性化、活性化、高度化を達成するため、4つの重点研究分野を設定している。①エネルギー・環境部門、②バイオ・材料科学部門、③情報科学部門、④社会基盤部門である。

研究規模 更に、平成20年度には2回目の学科改正が行われ、より地の利を活かした研究展開を目指し、個性的な魅力ある大学構築に取り組んでいる(表1)。学生数約2,000人、助教以上の教員は151人(平成20年4月1日現在)、平均年齢44歳である。

研究体制 平成16年4月の法人化後、教員の研究や教育への意識の活性化を目指し、教員の点数制評価制度を立ち上げている。教育、研究、外部資金導入、産学官連携等を評価し、研究費の傾斜配分や優遇施策のみならず、給与待遇面にも反映している。平成17年4月には、教員全体の研究意識が同じベクトルを持ち、本学全体の研究力向上と研究の個性化、活性化、高度化を目指し、研究推進センターと呼ばれる学科横断型大型研究プロジェクト組織14チームを発足し(図1)、地域独特の課題への取り組みや共同研究の実施、大型外部資金導入へと繋がる競争的資金獲得への提案などに取り組んでいる。

大学は、地域に根ざしかつ地域社会への貢献を実現するため、地の利を活かした研究を推進すると同時に、地域環境に目を向け、地域活性化を促す体制構築や研究展開を図る必要性がある。

昭和36年 4月1日	北見工業短期大学(機械科、応用化学科)が設置
昭和37年 4月1日	電気科が設置
昭和40年 4月1日	土木科が設置
昭和41年 4月1日	北見工業大学(機械工学科、電気工学科、工業化学科、土木工学科、一般教養等)が設置
昭和42年 4月1日	情報工学科が設置
昭和43年 4月1日	電子工学科が設置
昭和47年 4月1日	環境工学科、工学専攻科が設置
昭和53年 4月1日	先進科目(工業数学)が設置
昭和54年 4月1日	応用機械工学科が設置
昭和54年 3月31日	工学専攻科の廃止
昭和55年 4月1日	北見工業大学大学院工学研究科修士課程(機械工学専攻、電気電子工学専攻、土木環境工学専攻、土木環境工学専攻)が設置
平成2年 4月1日	情報工学科が設置
平成5年 4月1日	応用機械工学科、電気電子工学科、複合システム工学科、環境材料工学科、土木環境工学科、先進系(人間科学)が設置
平成6年 4月1日	情報工学科が設置
平成7年 4月1日	情報工学科及び先進系(工業数学)が設置(機械工学専攻、情報システム工学科が設置)大学院工学研究科修士課程を卒業し、博士前期課程(情報システム工学専攻、電気電子工学専攻、情報システム工学専攻、複合システム工学専攻、環境材料工学専攻、土木環境工学専攻)及び博士後期課程(システム工学専攻、複合工学専攻)が設置
平成20年 4月1日	応用機械工学科、社会環境工学科、電気電子工学科、複合システム工学科、バイオ環境化学科、マテリアル工学科が設置

表1 北見工業大学の学科編成沿革

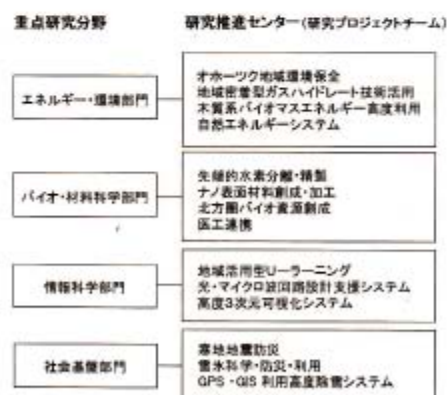


図1 研究推進センターが取組む研究テーマ(14テーマ)

1) 文部科学省「学校基本調査」

2) 文部科学省国立大学法人評価委員会 総会(第12回) 資料3-1 国立大学法人制度の概要

3) 中央教育審議会「我が国の高等教育の将来像(答申)」(平成17年1月28日)

4) 日本生涯教育学会『生涯学習研究』e事典』執筆: 服部英二